



謹賀新年



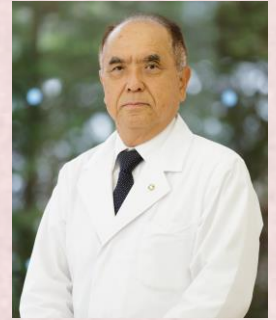
あけましておめでとうございます。

昨年、当院で新型コロナウイルスによる院内感染が発生しました。皆様にご迷惑とご心配をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

その後、感染管理の医師や感染管理認定看護師の指導のもと、感染対策を強化して通常の診療体制に戻っています。なお、発熱の患者様については、前もって電話で連絡をいただき、車の中か駐車場に開設した臨時の診察室で診察を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新しい年になっても感染の拡大が止まりませんが、これからも患者様が安心して療養生活を送れる環境づくりに努めながら、地域から求められる医療を提供していきたいと考えています。

本年もよろしく願いいたします。



理事長 院長 西村 範満

宝塚第一病院での感染対策をご紹介します



当院正面玄関にサーモカメラを設置しました。来院される方全員の体表温度を測定し、37℃以上の熱がある方には警告音を鳴らしてお知らせします。警告音が鳴った場合は再度検温をお願いし、37℃以上の発熱や咳などの風邪症状がある方は、院内への立ち入りを控えていただきます。

また、マスクを着用されていない方が通った際にも、同じサーモカメラから警告音と『マスクを着用してください』という音声の流れ、来院される方全員へマスク着用を徹底していただいております。

発熱や風邪症状などで受診される方は、院外に設置した臨時の発熱外来（プレハブ）にご案内し、他の患者様と接触が無いように動線を切り分けて診療を行っております。

発熱外来は完全予約制とさせていただいておりますが、寒くなり受診相談は日々増えている一方、対応する医師、看護師のマンパワーにも限りがあることから、当日の受診をお断りせざるを得ないこともございます。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

引き続き感染対策に細心の注意を払い、皆様が安心しておこしいただける病院づくりに努めてまいります。





認知症看護認定看護師のご紹介



認知症看護認定看護師の、安福 洋子です。地域包括ケア病棟で勤務し、2020年の9月から毎週水曜日を活動日としています。毎週水曜日は私と担当医師の2人で各階をまわり、認知症カンファレンスを行っています。認知症のある患者様のケア方法や、せん妄の対策などを、病棟スタッフの皆さんと意見を出し合い検討し、認知症ケアが必要となる患者様に、必要なケアが提供できるよう介入しています。

『パーソンセンタードケア』という、認知症ケアの理念があります。これは、“認知症の人に寄り添い、信頼し合うという相互関係のもとで、その人の個性や人生に焦点を当てたケア”のことです。

認知症ケアの第一歩は、その人を知ることです。認知症のある患者様に話かけてください。みんなで一緒に『パーソンセンタードケア』を実践することを、私は目標にしています。活動を開始したばかりで、私自身がうまくできないことが多いですが、先生方や、リソース室の先輩方、病棟スタッフの皆さん、他職種の皆さんに協力していただき、頑張ることができています。

普段は6階病棟、水曜日はリソースナース室にいますので、気軽に声をかけてください。



認知症看護認定看護師
安福 洋子



『栄養サマリー』のご紹介

栄養部では入院患者さまの栄養状態の維持・改善を目的に他職種と連携して摂食・嚥下機能、食事環境などに配慮し一人ひとりに合わせた食事提供ができるよう取り組んでいます。当院では個人対応も多く患者さまが退院後も安全に安心して食事ができるよう、入院中に行った

栄養ケアを「栄養サマリー」として情報提供を行っています。「栄養サマリー」には入院中の食事内容、提供栄養量、食事形態、栄養補助食品の使用の有無、嚥下状態や

身体計測値など食事・栄養に特化した情報を記載し、年間200件以上を作成しています。退院直後からその方に合った食事提供及び栄養ケアが継続できるよう「栄養サマリー」をご活用ください。

患者さまの退院後の生活を地域で支えるために、他施設、他職種と協力・連携し「医療と介護をつなぐ栄養ケア」を目指しています。



当院 元旦のお食事の一部

